学生が改善ポイントを提案
兵庫県立大学との共同研究を実施

2026年3月、兵庫県立大学国際商経学部の加納ゼミ、高階ゼミとひょうご仕事と生活センターの共同研究報告会を各企業等で実施しました。この共同研究は12年度にスタート。企業・団体へのヒアリングを基に、ワーク・ライフ・バランス（WLB）に関する研究テーマを設定し学生の新たな視点で課題の洗い出しや検討を行い、企業・団体のWLB推進につなげています。25年度は24人の学生が3企業の協力を得て従業員へのアンケート調査を実施し、分析の上、提案。その一部を紹介します。

（社福）恵愛園

2024年度認定企業

地域に寄り添い、高齢者や障がい者の豊かな生活を支えている同法人。2019年に開設した「オレンジ神戸」の職員を対象に調査しました。

提 案

- ○ 職員の離職を防ぐには、上司や先輩のこまやかな声かけによる関わりが重要
- ○ 「上司の配慮や声かけがどのくらい職員に届いているか」を意識したアンケートの導入により、評価対象に上司行動を入れる
- ○ 入職前後のリアリティーショックを低減させるため、事前に理想だけでなく大変さも共有する



三ツ星ベルト㈱

2009年度表彰企業

伝動・搬送技術で世界産業を支える産業用ベルトを製造する同社。「WLB向上の提案」と「組織的公正とワークエンゲージメント」をテーマに分析しました。

提 案

- ○ 部署横断のプロジェクトや部署間交流をさらに活発に行うことで、業務調整や相互支援の促進効果が得られ、社内コミュニケーション活性化につながる
- ○ チャレンジできる社風が浸透しているため、新規提案や失敗報告にもポイントを付ける「チャレンジポイント（会社のために新たに挑戦した人に対しての評価）制度」を設けることでさらなるチャレンジ意欲の向上を図る



美樹工業㈱

2026年度認定企業

再エネ事業やSDGsにも注力する、姫路に本社を置く総合建設・設備を行う同社。インタビュー時に評価制度の改善を検討していることを聞き、評価制度の明確化に関する組織的公正やコミュニケーション、職場風土がWLBにどのような影響を与えるかを分析しました。

提 案

- ○ 評価プロセスを事前に説明した上で、個人評価の決定理由をフィードバックすることで納得感を高める
- ○ 評価者のばらつきによる不公平感をなくすため、評価レビューや人事部による再審査など異議申し立て制度を設ける



参加企業の声



できることから
取り組んでみたい



分析結果を
真摯に受け止めて
制度改正に生かしたい



現状の良さが明確になったので、
採用PRに活用できそう